

事前評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成23年10月28日(金)

研究課題	タケ資源の有効利用に関する研究	
研究期間	平成24年度～26年度	
	評価項目	平均点
	研究の背景	4.0
	研究目的の妥当性	4.2
	研究内容の合理性・新規性	3.6
	研究予算の妥当性	3.4
	目的達成の可能性	3.4
	期待される研究成果	4.0
	予備研究の状況	3.4
	総合評点	3.7
<p>とにかく「困りもの」のタケ(特にマダケ)であるため、本研究が成就すれば、タケの持続的な需要が見込まれる。これまでの予備研究で、きのこ栽培の菌床として、また堆肥の水分調整剤として有効であることが示されており、研究の進展が期待される。飼料としても、抗酸化活性があるなど期待がもてるが、嗜好性の問題をクリアする必要がある。</p> <p>また、本研究を多角的に進め、少しでも有効性があることで活用すること。 さらに、次の項目についても探求して欲しい。</p> <p>①竹博物館等竹を文化として活用 ②家畜に限らず消臭剤としての活用 ③竹酢液の活用 ④竹制御物質(ケミカルエコロジー) ⑤バイオ資源として利活用</p>		